



# やあ!

# ya!



URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:[tia@tia21.or.jp](mailto:tia@tia21.or.jp)



▲防災〇×クイズに答える参加者の皆さん



▲スライドを見ながら防災について話す講師の稲葉氏



▲非常食の作り方の見学



▲段ボールを使ったトイレ作りを体験

## 「防災について一緒に考えましょう！」

12月3日（土）に佐野市城北地区公民館で、日本人住民と外国人住民が交流しながら、防災の心構えや避難所の様子などを知ってもらう多文化共生に向けた防災教室を佐野市および佐野市国際交流協会とともに行いました。佐野市、小山市、宇都宮市、栃木市などからフィリピン、中国、パキスタンなど6つの国と地域の20名が参加しました。講師の栃木県防災士会理事長の稲葉 茂氏から、熊本地震の被災の写真や県内の水害の映像の紹介があり、防災に関する〇×クイズでは、参加者は積極的に手を挙げて回答していました。また、大人数用のアルファ米の非常食を紹介し、お湯を注いで作る様子を見学しました。会場の避難所に見立てたスペースでは、避難時に役立つ新聞紙のスリッパや簡易トイレなどを作りました。その後、出来上がった非常食を食べながら、参加者同士が、災害の時に不安に思っていることや出身国の災害について話し合いました。

2017年3月号

No.138

Spring

TIA トピックス

カンボジア青年海外協力隊調査報告

「宮っ子チャレンジ」職場体験受入（泉が丘中、国本中）

JICA 情報局

教師海外研修報告会

## 「災害発生！そのとき災害弱者に起きること ～災害時の外国人支援の実例から考える～」

11月17日(木) 小山市立中央公民館

災害時に外国人住民に対してどのような支援や配慮が必要かを学ぶセミナーを小山市、小山市国際交流協会とともに実施し、外国人住民を含む22名の参加がありました。



▲グループワークで質問に答える講師の柴垣氏(中央)

前半は、阪神淡路大震災以降の外国人住民への支援方法の流れや一昨年の茨城県の水害や昨年の熊本地震の現地の状況報告がありました。また、災害多言語支援センターの役割について、災害情報を外国語に翻訳や通訳をして外国人被災者に情報を届ける活動があるほか、会いに行き安心を届けることも重要であること、さらに、日本人と外国人との常識の違いもあるので、丁寧な説明が必要との話がありました。後半のグループワークでは、避難所巡回を行うスタッフとして、外国人被災者へのより良い接し方や災害情報や避難所のルールなどをどのように伝えればよいかを話し合いました。参加者からは、「災害時の混乱のなか、伝えることの多さに驚いた」、「地域の外国人をいつも意識して行動することが大切」などの感想が寄せられました。

## 「災害時外国人キーパーソンネットワーク会議」

11月22日(火) とちぎ国際交流センター

昨年度立ち上げた本ネットワークは、災害が起こったときに、一人でも多くの外国人住民に情報を伝えるために、地域に住む外国人がキーパーソンとなり、さまざまな手段で情報伝達を行っていただくというものです。今回のネットワーク会議では、タイ、中国、ネパール、フィリピン、ブラジル、ペルー、ホンジュラスの7か国、8名のキーパーソンの方々と情報交換を行い、栃木県国際課や宇都宮市、栃木市、佐野市の国際交流協会の職員がオブザーバーとして出席しました。

会議では、外国人キーパーソンと連携しての情報伝達の流れや外国人住民が利用するSNSの種類を確認、栃木県内での防災等の取り組みの紹介を行ったほか、外国人キーパーソンからそれぞれの出身国における防災意識や災害時の対応について発表してもらいました。避難所や防災訓練の有無、災害の種類や防災の意識など国ごとに違っている点が多く、今後の外国人住民への情報提供に大変参考になりました。



▲活発に発言するキーパーソンの皆さん

## 「映画で学ぶ英会話～Alice in Wonderland～」

1月12日(木)～3月23日(木) 全10回

とちぎ国際交流センター

昨年度から始まった「映画で学ぶ英会話」シリーズ第2弾の題材は「Alice in Wonderland (不思議の国のアリス)」。イギリスで生まれ、世界的に有名で若者男女問わず人気の物語です。書籍や実写、アニメーションなどがありますが、今回は比較的わかりやすく、多くの方に親しみのあるアニメーション版を見ながら、24名の受講者が英会話を学びました。講師はおなじみのイギリス人のマーク・マコーマック先生です。不思議の国に迷い込んだアリスの行動や感じたことをどのように英語で表現するかを学びました。

受講者からは「子どもの頃から好きだったのでうれしい」、「知っている内容だからわかりやすい」など多くの感想を頂きました。



▲英語表現を丁寧に説明する講師のマーク氏

## 第2回相談員・通訳協力者実務研修会 & Tタイムミーティング

1月28日(土) とちぎ国際交流センター



▲参加者に助言する講師の田崎氏

外国人の子どもの教育と支援をテーマに、「多国籍・多文化共生の道『学校発・地域・未来行き』—日本語教室で出会った子たちから教わったこと—」と題した研修会を実施し、各市町等で外国人の相談に携わっている相談員、通訳協力者、県内小中学校教員など44名が参加しました。

講師には、元小学校教員であり日本語指導教室で11年間教鞭をとられた経験のある田崎啓三氏をお招きしました。講演では、日本語指導における問題点や解決策、指導の実践の紹介や人として対等な関係づくりなどを、豊富な経験によるエピソードを織り交ぜながらお話していただきました。会場には、当時の日本語教室の様子が掲示され、講演の最後には未来を切り開く卒業生の現状が紹介されるなど、温かい雰囲気での研修会となりました。参加者からは、「いろいろな工夫をした子どもたちへの指導に感動した」、「実践例がたくさん聞けてよかった」、「多国籍の子どもたちに愛を持って指導することは、偏見なく世界の平和に貢献する人材を育てることにつながると思う」などの感想が聞かれました。

研修会終了後は、研修会参加者やTIAトランスレータバンク登録者の皆さんとお茶を飲みながら、それぞれの活動内容などを語り合う「Tタイムミーティング」を行いました。

## JICA 青年海外協力隊等事業 理解促進調査団参加報告

TIA 松本、  
カンボジアに  
行ってきました！



2017年1月22日(日)～1月28日(土)、  
カンボジア王国の首都プノンペンとコンポンチ

ユナン州やタケオ州の地方都市を視察しました。JICA 筑波が主催した今回の視察の目的は、茨城県・栃木県の関係団体及び、メディア各社が JICA ボランティア事業の理解を深めることで、県民の皆さまにも広く JICA 事業や国際協力の関心を高めていただこうとするものです。栃木県から7名、茨城県から6名、そして主催の JICA 筑波から4名、総勢17名で訪問しました。

### <表敬訪問>

在カンボジア日本大使館(堀之内秀久大使)、カンボジア教育青年スポーツ省(教育総局長)・保健省(国際協力局長)を表敬訪問。カンボジア事情や JICA による各種支援の成果を伺いました。

### <青年海外協力隊員の活動現場を視察>



▲電子ピアノを教える土屋さん(手前4番目)

栃木県出身、茨城県出身を含む5名の青年海外協力隊員の活動現場を視察しました。栃木市出身の土屋麻美氏はカンボジアの青少年活動を支援し、タケオ州内の青少年育成

や情操教育の一環として組織されたマーチングバンドの指導や小学校教員養成校で音楽の

授業を担当しています。視察当日は教員養成校の授業を視察。1台の電子ピアノを3人で使用したり、不具合の機材もあったりと、決して恵まれた環境とは言えない中でも笑顔で指導する姿が印象的でした。

### <JICA 事業の視察>

無償資金協力によって建設された、通称「日本橋」を視察。また、インフラ整備(プノンペン洪水防御排水計画/交通整備計画/路線バス整備計画等)について説明を受けました。また、カンボジア日本人材開発センターを訪問して、人材育成の状況について伺いました。このほか、以前は日本語教師隊員が派遣されていた王立プ



▲日本語学科の学生と話す松本

ノンペン大学日本語学科の授業も視察しました。

### <視察をとおして>

カンボジアは内戦の深い傷跡がまだ残っています。受け継がれるべき伝統や教育が失われ、地雷が残っている地域もありますが協力隊の努力や ODA 事業の成果が確実に表れていることが実感できました。発展途上の中でも、大らかに明るく楽しそうに過ごしているカンボジアの人々や、至る所で見かける日本の国旗や親日家の存在は懸命な支援の賜物です。



▲プノンペン市内のマーケット周辺の様子

## 「グローバル人材のための合同企業説明会」

12月6日(火) 栃木県総合文化センター

海外展開を目指す県内企業とグローバル人材と呼ばれる海外留学経験者、外国人留学生、国際協力ボランティア帰国者の方たちを対象に、合同企業説明会を実施しました。これは、企業のグローバル人材の確保を支援する目的で行われたもので、県内の企業10社と県内で学ぶ外国人留学生等79名が参加しました。

参加者は興味のある企業のブースで、担当者から各社の情報、業務内容などを熱心に聞いていました。また、海外での経験をアピールする留学経験者や流ちょうな日本語で積極的に質問している外国人留学生など、実際の就職活動に役立てようとする様子が見られました。また、多くの参加者は県内にグローバル企業があることに関心を持ったようでした。

説明会終了後には、企業担当者と参加者が軽食をとりながら気軽に話ができる交流会も行いました。

次年度も多くの企業や参加者を募って継続する予定です。



▲各ブースで説明を受ける参加者

## 「やさしい日本語セミナー」

12月10日(土) 高根沢町 農村環境改善センター



▲グループワークの説明を行う講師の柳田氏

日本語が十分でない外国人住民の方とのコミュニケーションとして注目されている「やさしい日本語」について学ぶセミナーを高根沢町教育委員会、高根沢町国際交流協会との共催で実施し、高根沢町をはじめ、県内各地から28名が参加されました。講師は、多文化共生に必要なやさしい日本語について研究されている一橋大学国際教育センター准教授の柳田直美氏。前半の講演では、最近ではNHKのテロップなどにもやさしい日本語の配慮がされることや外国人住民の母語以外の共通言語は日本語であるデータを紹介し、やさしい日本語への言い換えや書き換えの方法をそれぞれ詳しく説明しました。グループワークでは、一般的なニュースの文を、大事な情報を最初に持つことや短い文にするといったポイントに沿って書き換えの練習を行いました。また、外国人住民に説明を行っている役所の職員のビデオを見ながら、わかりやすいか、相手への配慮があるかなど話し合いました。

# 「宮っ子チャレンジウィーク」 TIA で職場体験

## 宇都宮市内の中学2年生 社会体験プログラム 泉が丘中学校 & 国本中学校

泉が丘中学校 11月8日(火)～11月11日(金)

國分僚太郎さん、齋藤向日葵さん、坂野秀峰さん、山口奈々さん



TIA主催の英会話講座に参加しました。また、アメリカ人、中国人の県国際交流員に積極的に質問を投げかけていました。

国本中学校 11月29日(火)～12月2日(金)

小野澤和真さん、高瀬和樹さん、益嶋玲矢さん、松浦悠華さん、大金知佳さん



国際交流員と中国のカードゲームで楽しく交流しました。TIAの雰囲気づくりのため、数々のアイデアを提案してくれました。

【1日目】TIAオリジナル名刺作成、作った名刺で職員と名刺交換。

【2日目】外国人住民への情報発信のため、インターネットで情報収集し原稿を作成。その後、原稿を英語



▲TIA職員とスペイン語での会話に挑戦

に翻訳する体験。県国際交流員の力を借り懸命に完成させました。



▲県国際交流員に質問する生徒たち

で素晴らしい提案を形にしました。

◇泉が丘中学校：TIAをわかりやすく！

→外部案内やデコレーションを作成

◇国本中学校：TIAをもっと明るく！

→国旗ガーランドを作成

【3日目】TIA職員やJICA栃木デスクと交流し、栃木県に住む外国人住民の現状や外国文化について学習。

【4日目】「外国人住民の方が使いやすいTIA」をテーマに、柔軟な発想と行動力



▲ステキになったTIAの受付

## JICA 情報局

## JICA 教師海外研修報告会 ～タンザニア研修・授業実践報告～

1月28日(土)、とちぎ国際交流センターにてJICA筑波・栃木県国際交流協会共催『2016年度JICA教師海外研修報告会—先生が感じた世界を教室に!!—』を開催し、20名が参加しました。



▲報告を行う昭和の小の高橋氏

JICA教師海外研修とは、国際理解教育に関心のある小中高校の先生を対象に、夏休みに10日間程度の海外研修を通して得た経験を、授業などの実践に活かして頂くものです。

今年度は、行政コース(スリランカ)に県総合教育センター・興野寛久氏が、また教員コース(タンザニア)に佐野市立田沼小学校・田子翼氏、市貝町立小貝小学校・鯉沼雪乃氏、宇都宮市立昭和小学校・高橋郁美氏の計4名が参加しました。

報告会では、現地の体験談や、教育現場でどのように体験を生かしたか、児童の反応などととも紹介されました。

## JICA ボランティア春募集説明会 小山・宇都宮

日時&場所：

3月25日(土) 生涯学習センター(小山市中央町3-7-1ロブレ6階)

4月8日(土) とちぎ国際交流センター(宇都宮市本町9-14)

\*14:00～16:00(両日とも)

内容：ボランティア経験者による体験談等。応募を決めている方も、ちょっと話を聞いてみたい方も大歓迎です。お待ちしております！

【お問合せ】JICA栃木デスク 028-621-0777

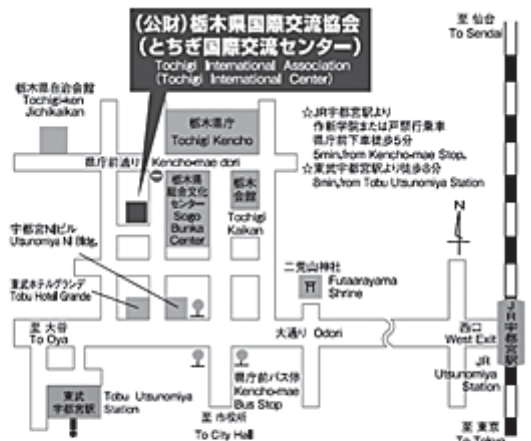
## <TIA携帯情報サービスのご案内>

生活情報やイベント、防災について携帯メールで配信しているサービスです。ぜひ、お知り合いの外国人にもお知らせください！登録は無料です。



☆希望する言語のアドレスに空メールを送ってください☆  
英語 tia21eng@b.bme.jp ポルトガル語 tia21por@b.bme.jp  
中国 tia21chn@b.bme.jp スペイン語 tia21esp@b.bme.jp  
日本語 tia21jpn@b.bme.jp やさい日本語 tia21ysn@b.bme.jp  
★PCからも登録できます★

## TIAのご案内



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会  
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内  
TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)  
FAX 028-621-0951  
業務時間 8:30～17:15  
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日